

## 第6回運動部会議事概要

開催日時：令和7年12月16日（火）18：30～20：40

開催場所：名寄市役所 名寄庁舎第1委員会室

出席者：松澤 大介、清水 幸子、小笠原 志朗、金澤 秀和、筒井 正敏、片井 省仁

### 1 開 会

### 2 議 事

事務局：議事（1）「分会の報告について」の説明。

A委員：野球分会は、11月の段階で平日を含めた地域クラブ活動を検討していたが、ナイター設備や場所の確保、地域の指導者の確保の課題があり、12月10日の分会で平日は部活動、休日は地域クラブ活動とすることを確認した。クラブの指導者確保として軟式野球連盟、NABBC、中学校、大学など全体で人材確保に動き出すことになり、軟式野球連盟からは休日2名程度のコーチが派遣される見込みとなっている。もう一つの課題として、平日と休日にそれぞれ会費等の費用負担が発生することを保護者にどのように理解してもらうかということである。今後も毎月分会を開催し、協議を進めていく。

K委員：先日、球場に簡易的な照明を設置し、テストを行った。設置できる高さの影響で、照明が明るすぎることによってボールが見えないなどの支障があった。

事務局：照明の設置等による活動場所の整備や軟式野球連盟からの指導者派遣などにより課題が解決されれば、平日に地域クラブ活動を行うことができるのか。

A委員：すぐにではないが、準備が整えば可能である。地域展開を機にクラブも新たな体制へと変わりつつあると感じている。

K委員：バドミントン分会は、協会主体の運営が難しいことから、民間の若手中心に受け皿となれるよう検討を進めていたが、最終的には協会が母体となって運営していただけないと難しいという判断になった。一度、個人的に協会と話し合いをしようと考えている。

事務局：議事（2）「課題に対する検討について」「1 地域クラブ認定制度」の説明。

K委員：財政的な支援を行うことも想定し、認定要件を定めている。また、今後、国の補助を受ける場合、国のガイドラインに沿った内容にする必要がある。クラブが主体的に活動するには、各クラブで定めた育成方針のもと活動することが必要であるが、認定要件としても、ある程度具体的に明記しなければならない。

H委員：要件にクラブが活動内容に対して評価と改善を行うとあるが、その内容を公表するのはいかがか。また、自己評価ではなく、保護者やNスポーツコミッションなよるからの評価などにしてはどうか。

A委員：様々な意見を踏まえ、柔軟に対応できるのが地域クラブ活動のいいところになると感じている。認定の有効期間は、4月から3月の区切りでよいのか。部活動の3年生引退と合わせて9月から始まり、次年度の8月とするのはいかがか。

事務局：令和8年度は例外であるが、令和9年度からは3月に次年度の認定、4月に新入生への説明および助成金の申請、3月まで活動することを検討している。

H委員：認定の有効期間を9月から8月にした場合、助成金のスケジュールと差が生まれ、手続きが難しくなる可能性があるのではないか。

事務局：議事（2）「課題に対する検討について」「2 名寄市認定地域クラブ活動推進助成金」の説明。

A委員：助成対象事業に平日に活動を行うクラブとあるが、どのような場合に対象となるのか。水曜日だけ地域クラブ活動を行う場合は、適用になるのか。

事務局：平日に活動を行うクラブもあることを想定しているが、同競技の部活動が平日に活動を行う場合は対象とならない。

H委員：助成対象事業を正確に解釈できるよう記載を検討していただきたい。

A委員：クラブでの指導を希望している部活動顧問もいることから、クラブの体制が整う前に平日の助成金を目当てに議論が先走りする可能性があるのではないか。

I委員：顧問が地域クラブ活動の指導等に協力いただけることが望ましいが、異動等もあるため、教員任せの運営になってはいけないことを再認識しなければならない。

K委員：平日地域展開を実施した後に部活動に戻ることは不可能である。持続可能な活動になるよう、例えば週1回から始めるなどステップを踏んで進めた方がよいと考える。

事務局：平日地域展開の実施時期等を定めてから、助成金の制度を検討するのはいかがか。

K委員：理想は平日と休日が同じ団体に運営されていることだと考えている。競技や団体によっては、他の団体に比べて早期に平日の実施体制を確保できる可能性があるた

め、平日の地域展開についての助成制度を残すべきと考えている。

A委員：各クラブが共通の認識を持てるように、合同の説明会をするのはいかがか。

事務局：国のガイドラインや補助制度、市予算などが決まっていないことから、確定的な説明ができない状況である。4月の新生に対する部活動加入案内の際に併せて地域クラブ活動の紹介をする予定であるため、支援の確定から資料作成までのスケジュールがタイトになることが想定される。事前に情報を提供し、準備を進めていただきたいと考えている。

K委員：今後、国の動向や市の予算協議によっては、認定や助成制度について変更する可能性がある。制度の詳細については、事務局と協議して決定させていただく。

A委員：顧問から生徒へ地域クラブ活動の情報は説明いただけるのか。

事務局：地域クラブ活動は学校の活動ではないので、学校を通して地域クラブ一覧を配布することを検討している。地域クラブが個別に説明会を開催することも検討していただきたい。

事務局：議事（3）「新生説明会資料について」の説明。

A委員：大会の多くが休日に開催されていることから、大会の参加について説明する必要があるのではないか。

事務局：今後、部活動と地域クラブ活動において、参加する大会についてすり合わせを行い、4月の部活動加入案内時にお知らせしたいと考えている。

事務局：議事（4）「分会での協議について」の説明。

K委員：参加する大会のすり合わせについては、現在の部活動で出場している大会をベースにすり合わせを行うのがよいのではないか。

### 3 その他

### 4 閉会

K委員：以上で、本日の部会を終了する。